

●この説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

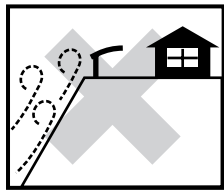
■施工される方へのお願い

▲ 注意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〔設置条件〕

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・メジャーポートF（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取り付ける設計になっています。2階以上の高所には取り付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合や、サイドパネルを取り付ける場合は、サポートで製品の補強をした上、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、または風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）



〔部材の固定〕

- ・タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てネジ・ボルトで固定してください。

〔基礎〕

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付

ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。

- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

●水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔シーリング処理〕

- ・指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔絶縁処理〕

- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

- 水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。
- 屋根の上にものをのせないでください。

■お施主様へのお願い

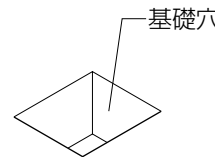
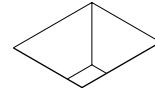
▲ 注意

- 転落のおそれがありますので、屋根にのらないでください。
- 製品破壊のおそれがありますので、積雪20cmを超える前に雪下ろしをしてください。
- ※雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は重く、降雨や湿雪の後などは、新雪に比べ約3倍の重さになります。（積雪量1cm当たり3kg/m²・比重0.3で算出）
- ※雪下ろしの際は、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。

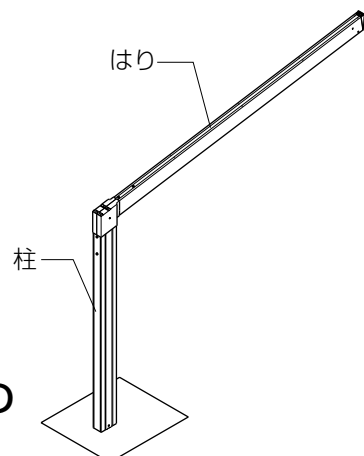
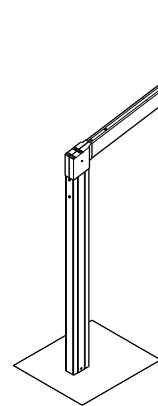
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 屋根の上にものをのせないでください。
- ボルト・ナット・ネジなどは絶対にゆるめないでください。
- 積雪時・強風時には、製品補強のためサポートを使用してください。
- 雪下ろしは、プラスチック製のスコップなどで静かに行ってください。金属製のスコップなどを使用すると、屋根材が割れたり傷ついたりする原因になります。

■取付け順序

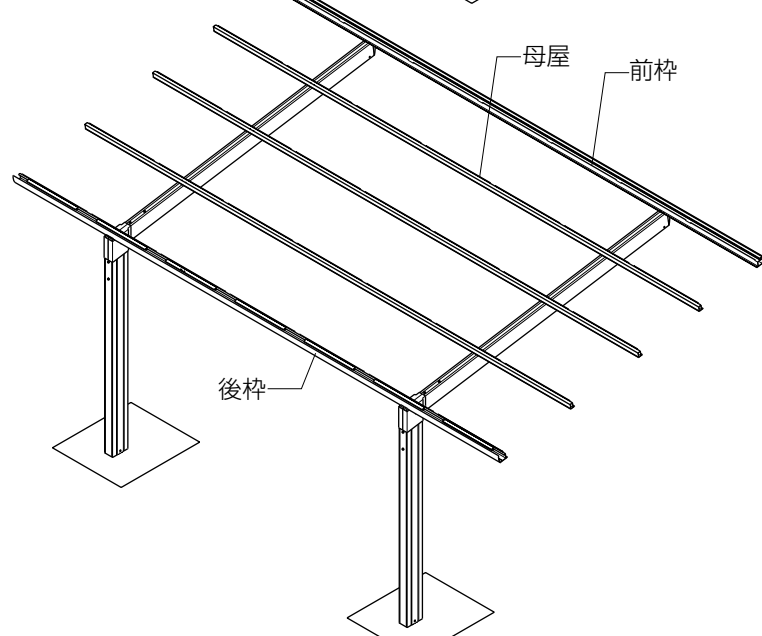
1 基礎の施工



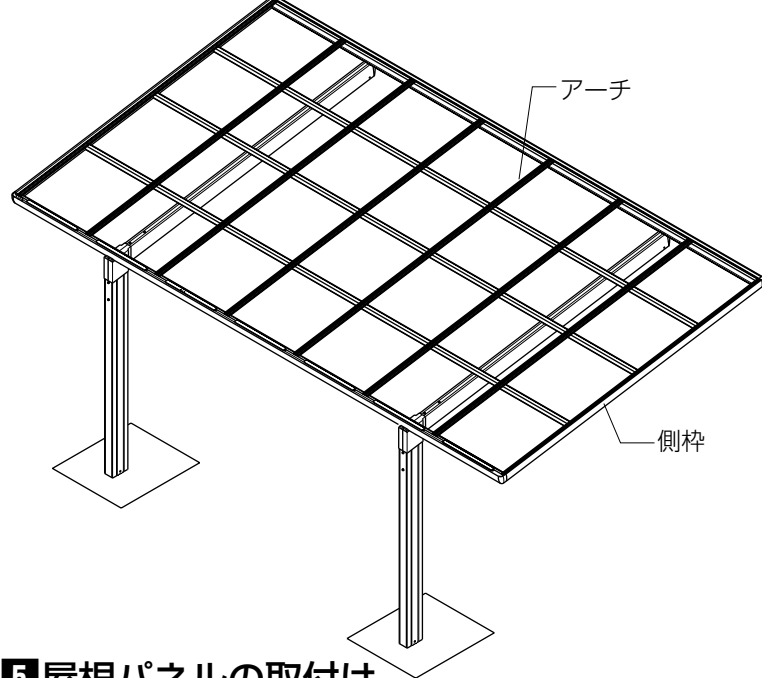
2 柱とはりの取付け



3 前枠・母屋・後枠の取付け



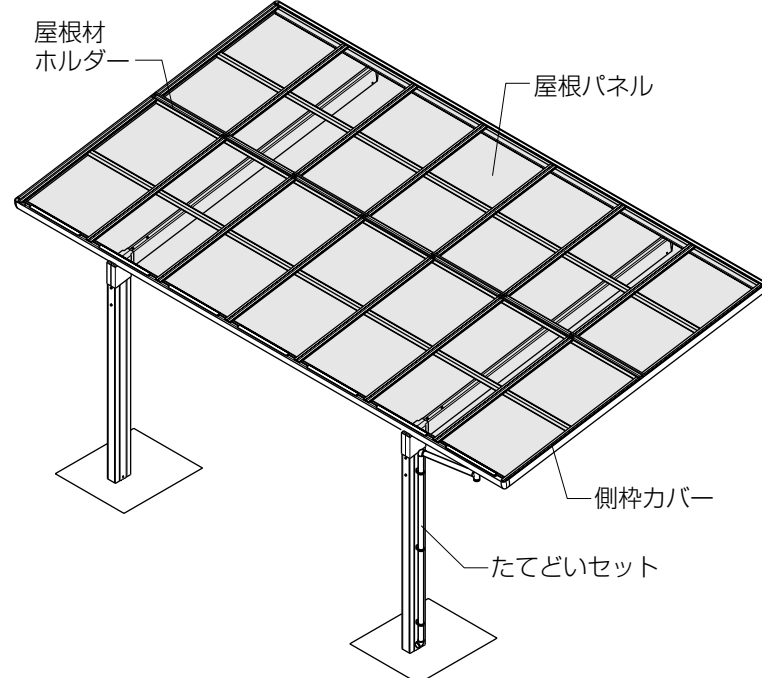
4 側枠・アーチの取付け



5 屋根パネルの取付け

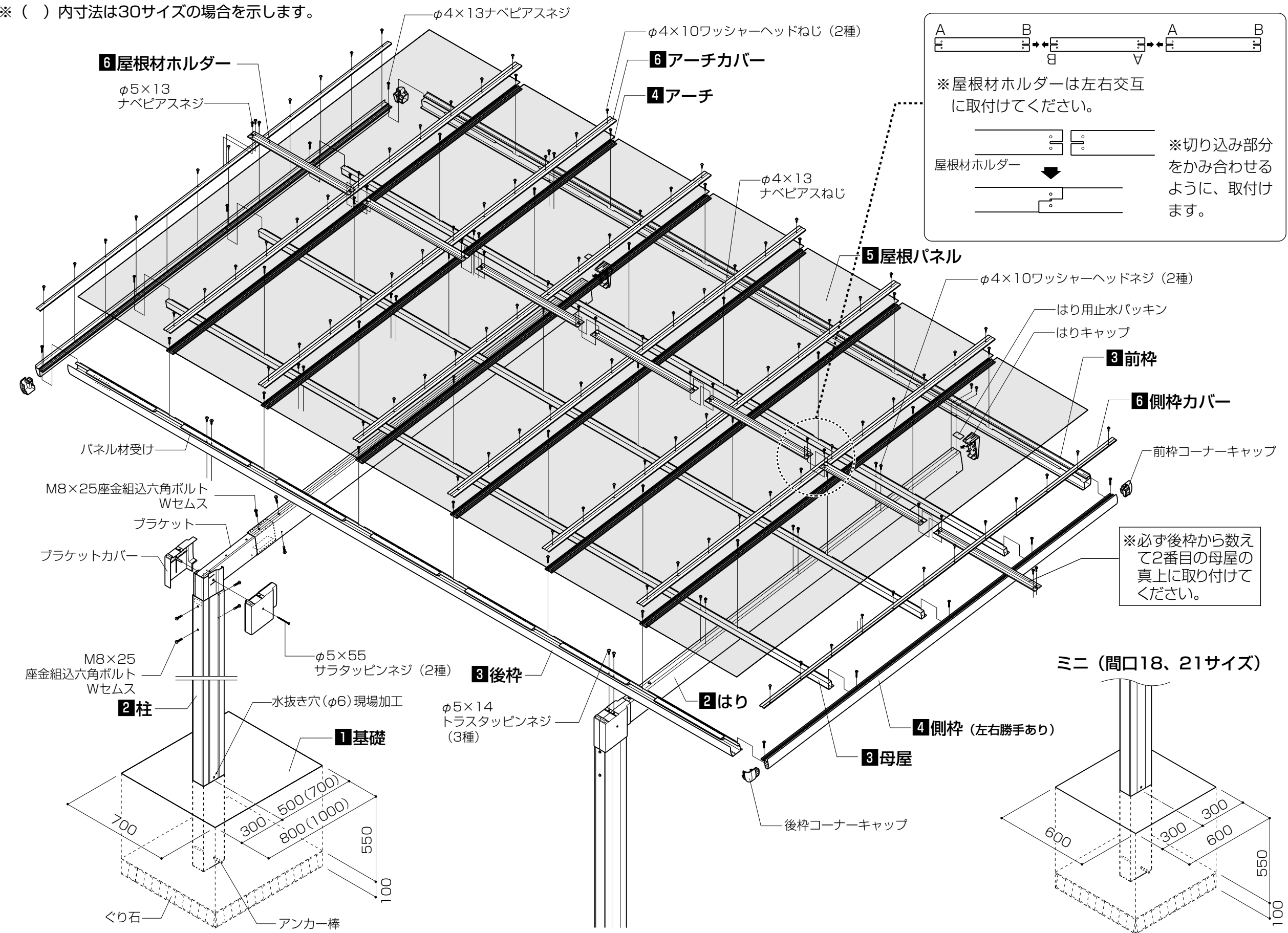
6 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

7 たてどいセットの取付け



■構造説明図

※（ ）内寸法は30サイズの場合を示します。



■取付け詳細（基本タイプ）

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

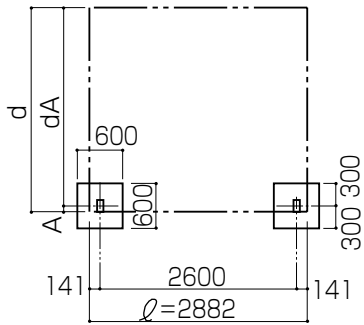
■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。（29サイズは柱移動不可です。）

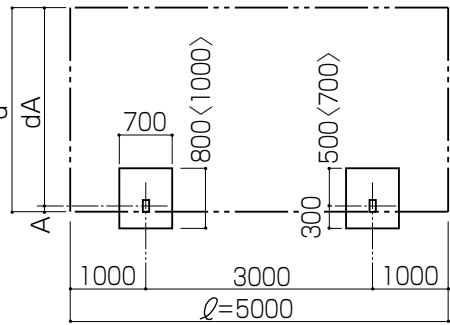
※くゝ内寸法は30サイズの場合を示します。

単位mm			
サイズ呼称	d	dA	A
18	1800	1734	66
21	2100	2034	66
24	2400	2321	79
27	2700	2621	79
30	3000	2920	80

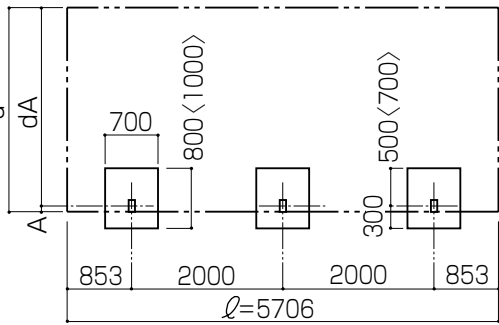
●29サイズ



●50サイズ



●57サイズ



2 柱とはりの取付け

①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建て込みます。

②はりをブラケットに取付けます。

（図1）

③ブラケットカバーを取付けます。

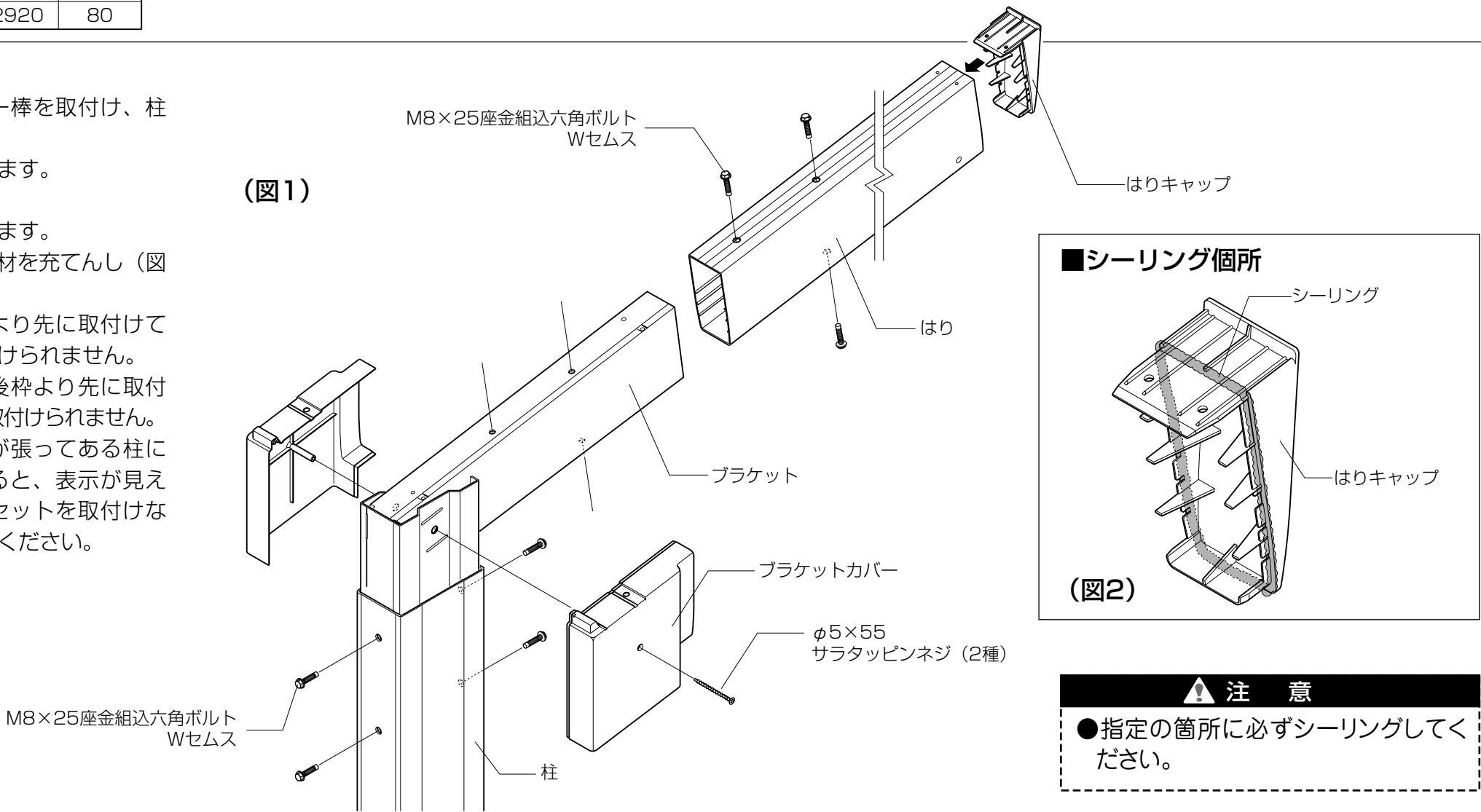
④はりキャップにシーリング材を充てんし（図2）、はりに取付けます。

※はりキャップは必ず前枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。

※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。

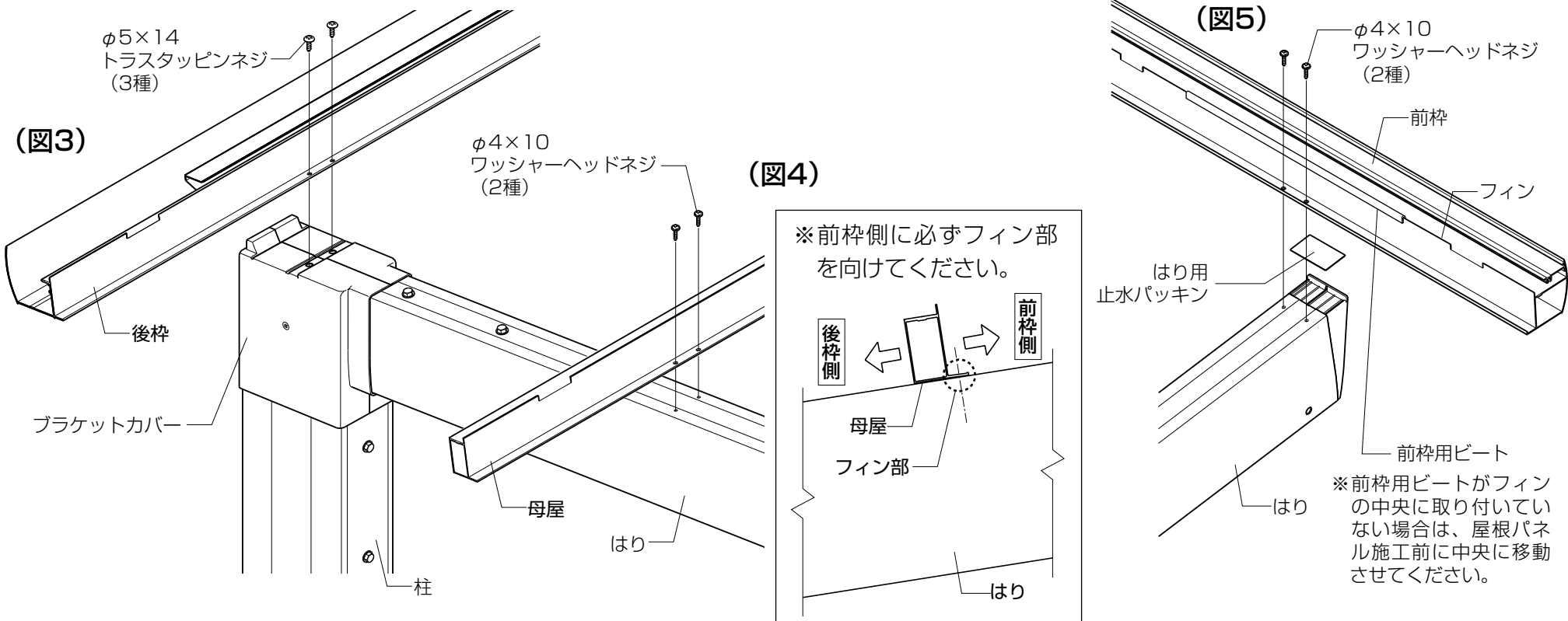
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱にたてどいセットを取付けると、表示が見えなくなります。たてどいセットを取付けない側に表示ラベルを向けてください。

（図1）



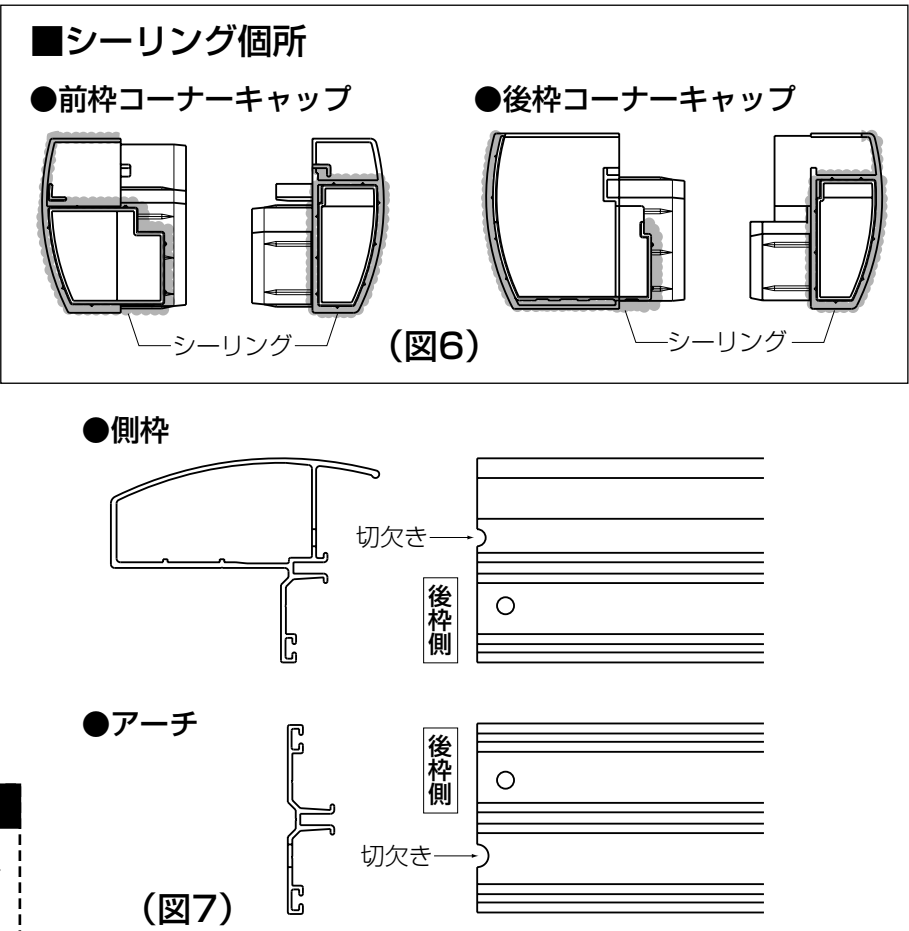
3 前枠・母屋・後枠の取付け

- ①後枠をブラケットに取付けます。(図3)
 - ②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図4)
 - ③はりの先端に止水パッキンを取付け、前枠をはりに取付けます。(図5)
- ※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- ※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。



4 側枠・アーチの取付け

- ①前・後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんし(図6)、側枠に取付けます。
- ※側枠には左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図7)
- ②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
- ③アーチの前後を確認し(図7)、取付けます。
- ④屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをします。

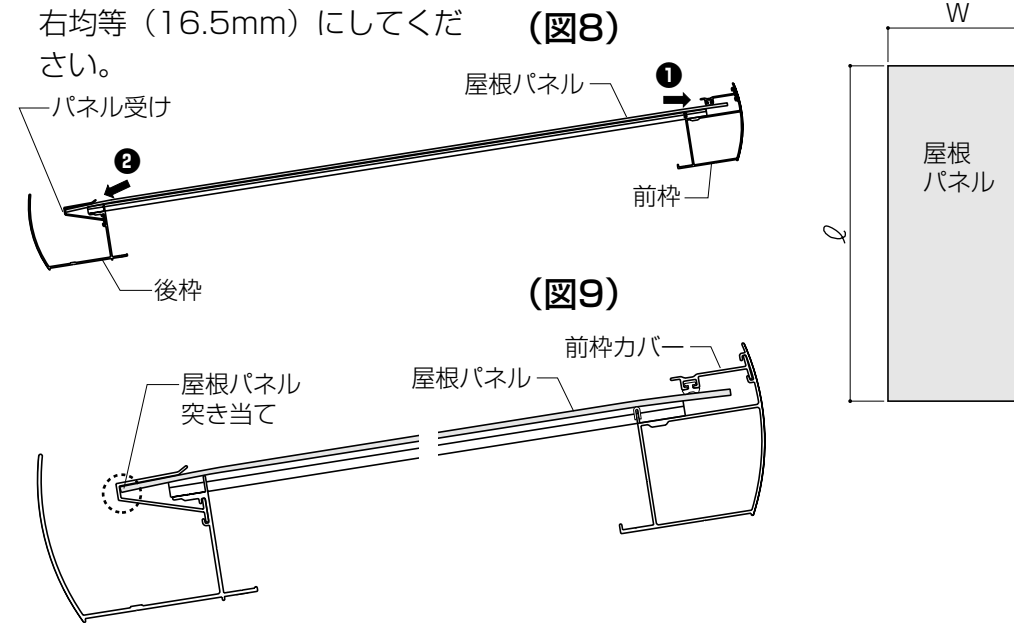


5 屋根パネルの取付け

- ①屋根パネルを前枠カバーに差し込み、パネル受けに差し込んでください。
- ※屋根パネルは後枠側に突き当ててください。(図9)
- ※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

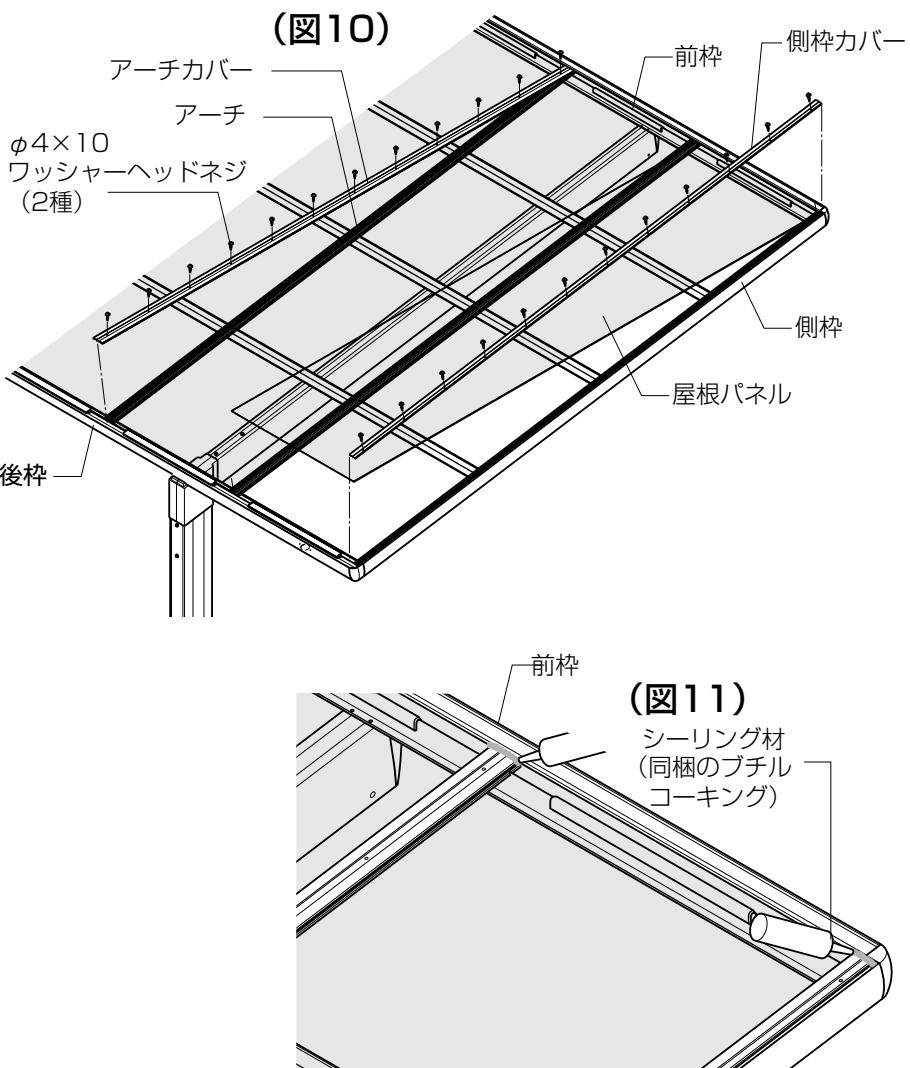
■屋根パネル寸法表 単位mm

サイズ呼称	ℓ	W
18	1774	689
21	2081	
24	2381	
27	2685	
30	2988	



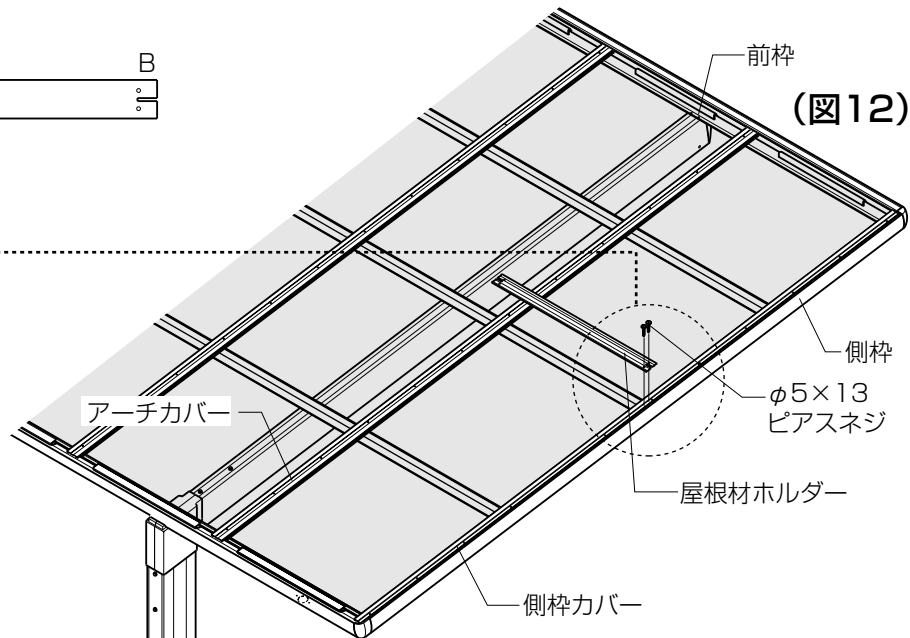
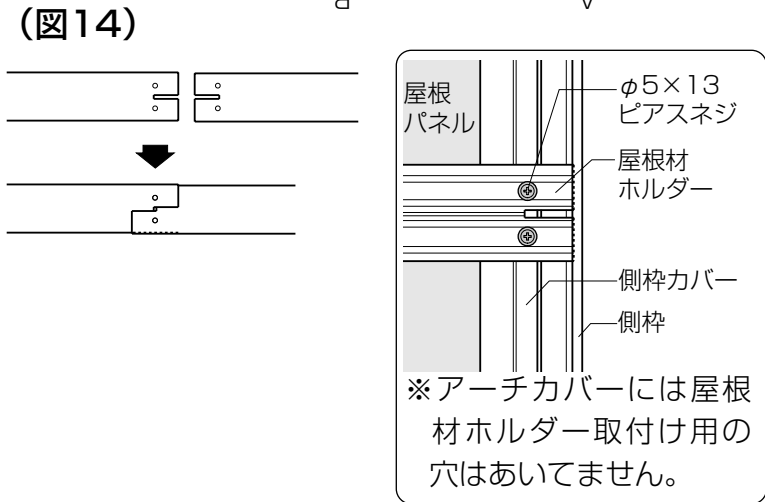
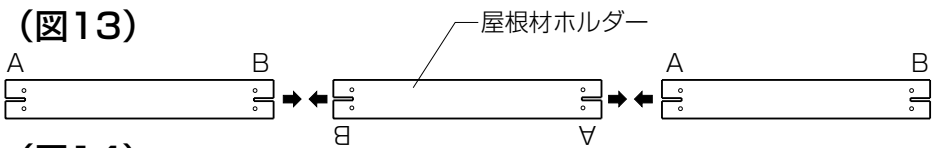
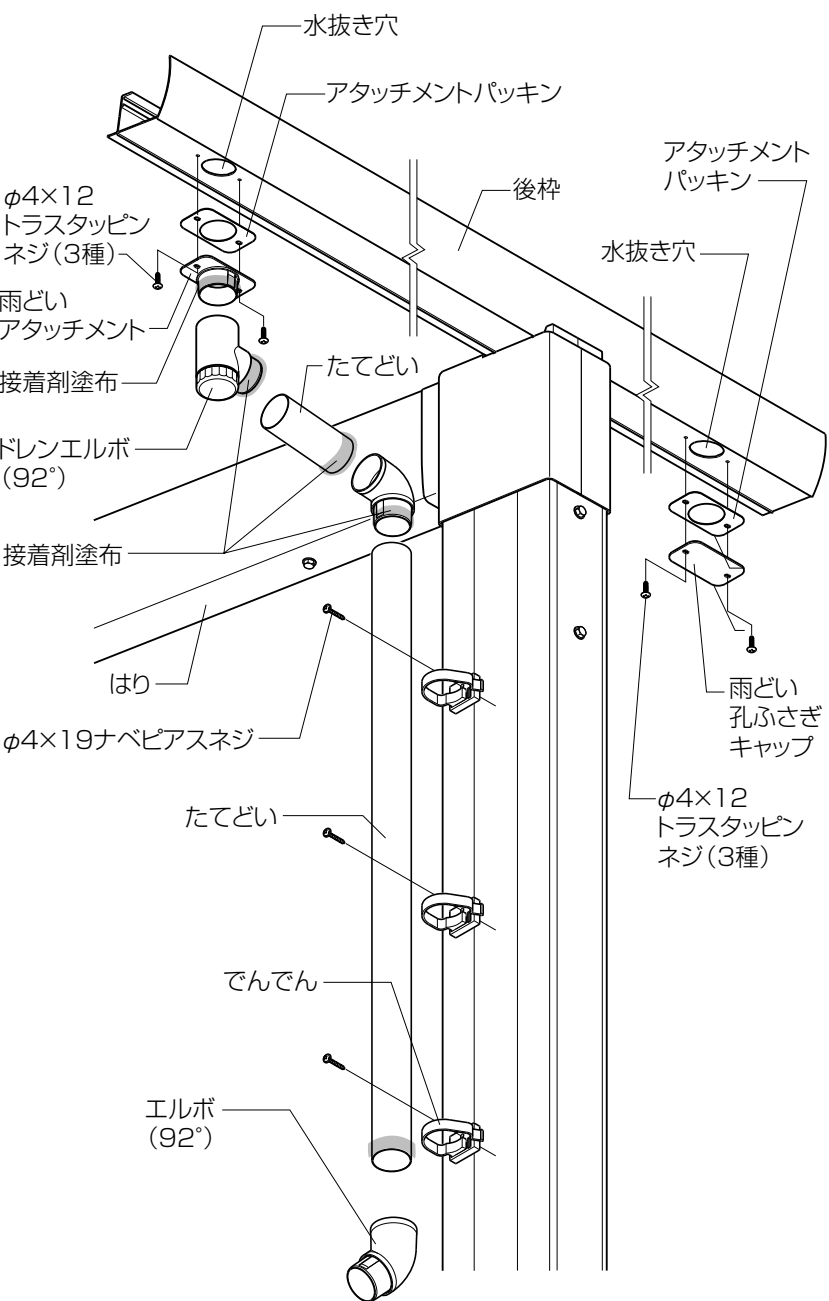
6 アーチカバーの取付け

- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てます。
 - ②前枠側から屋根パネルにネジ止めします。(図10)
 - ※アーチとかみ合っていることを確認してください。
 - ③前枠との間にシーリング材を充てんします。(図11)
 - ④屋根材ホルダーを後枠側から数えて2本目の母屋の真上の位置にネジ止めします。(図12)
- ※アーチカバー、側枠カバー側のネジのみ固定し、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定します。
- ※2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けます。(図13) (図14)



7 たてどいセットの取付け

- ①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方にたてどいセットを取付けます。(図14)
- ②もう一方の穴に孔ふさぎキャップを取付けます。



M合掌の取付け

1 基礎の施工

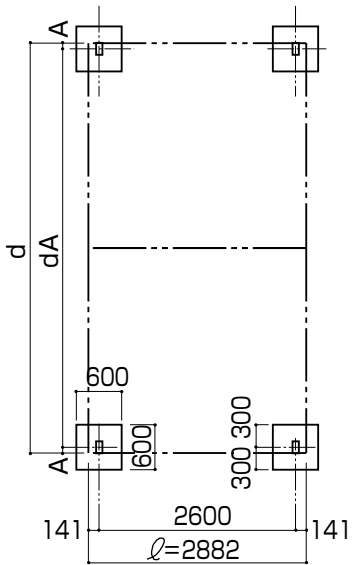
①柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

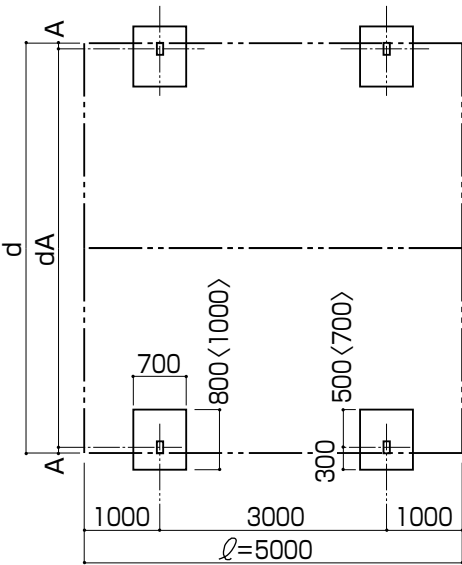
※柱の移動は±100mm以内です。（29サイズは柱移動不可です。）
※ く 〉内の寸法は30サイズの場合を示します。

単位mm			
サイズ呼称	d	dA	A
18ー18	3619	3487	66
21ー21	4219	4087	66
24ー24	4819	4661	79
27ー27	5419	5261	79
30ー30	6019	5858	80

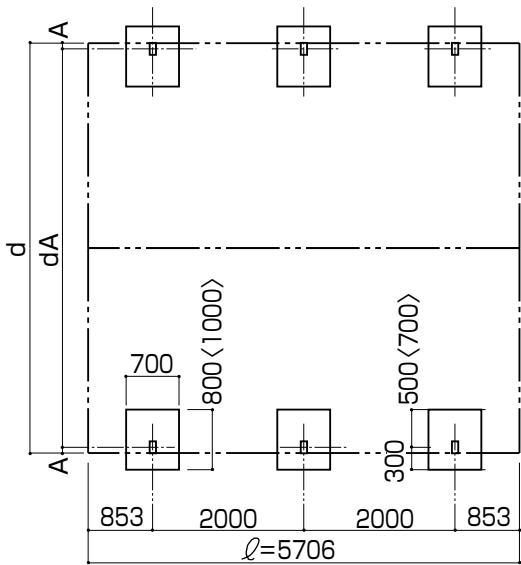
●29サイズ



●50サイズ



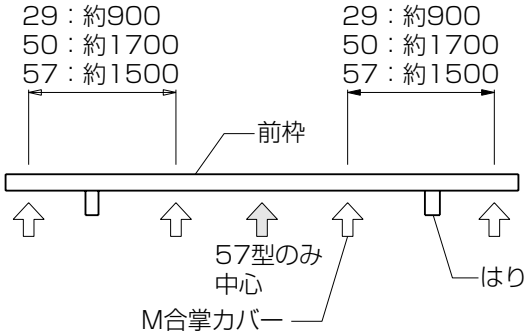
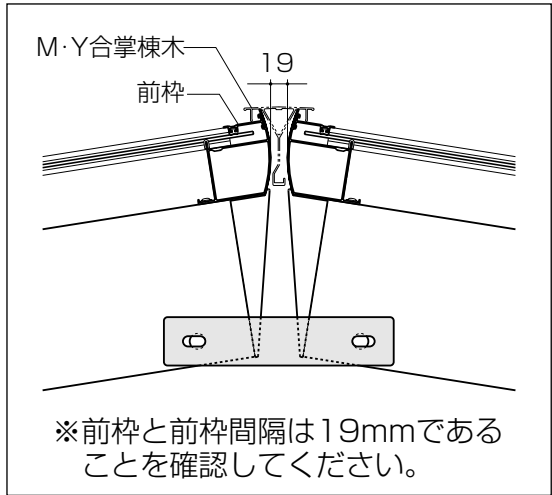
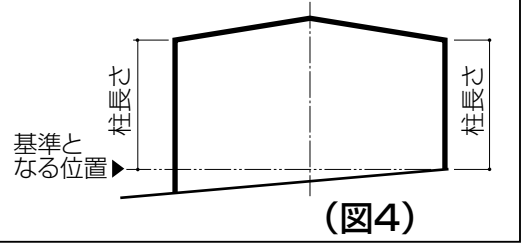
●57サイズ



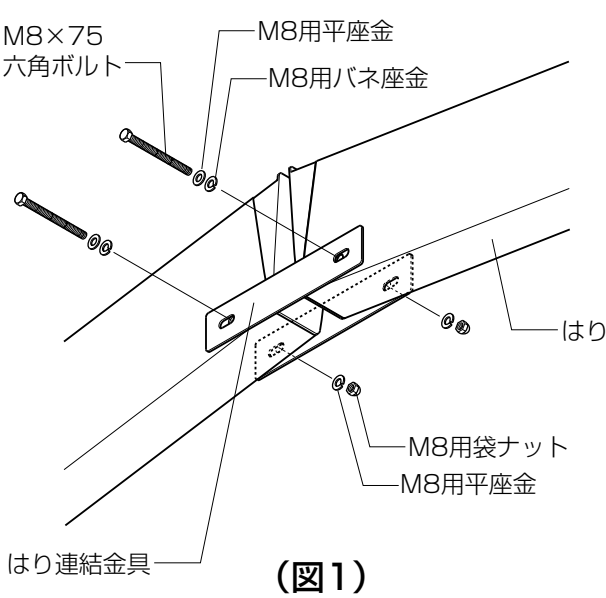
2 本体の組立て

- ①柱・はりを組み立てて建て込み、はりのプッシュボタンを外した後、はりとはりをはり連結金具で接続します。（図1）
- ②M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間にのせ、M合掌力バーで固定します。（図2）
- ③M合掌キャップを取付けます。（図3）
- ※M合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。
- ※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。（図4）

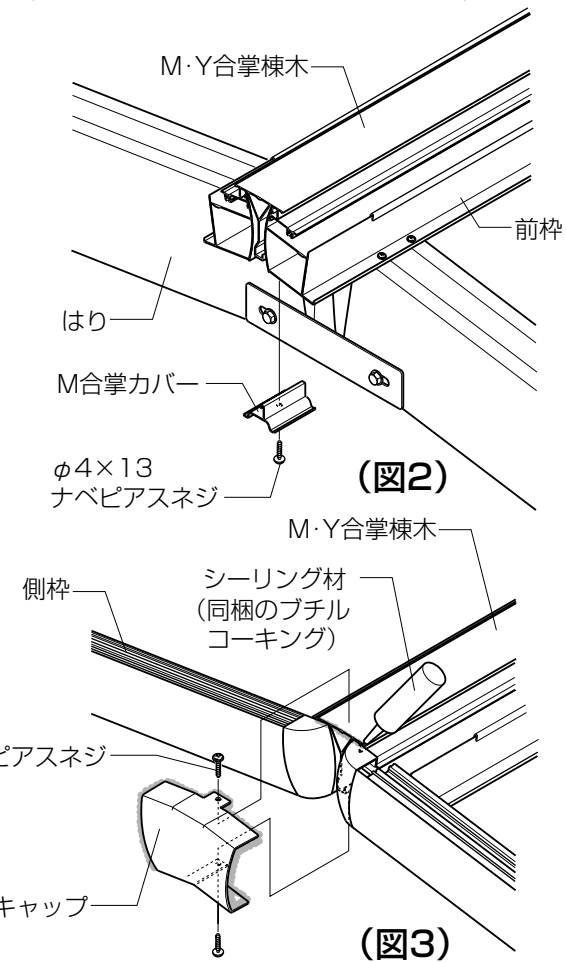
■柱長さについて



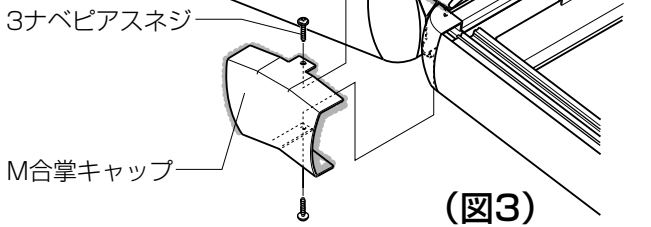
●M合掌力バー取付位置図



(図1)



(図2)



(図3)

※キャップ固定後、回りにシーリングしてください。

Y合掌の取付け

1 基礎の施工

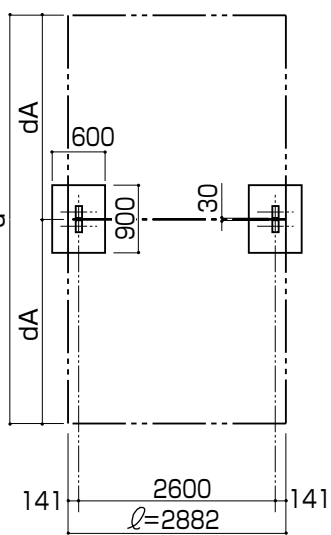
- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
- ※基礎構造については、基本タイプを参照してください。
- ※アンカー棒（φ9×300）は必ず柱に取付けて施工してください。

■墨出しの位置

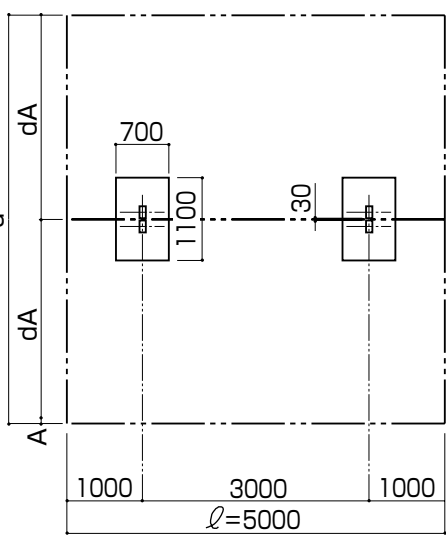
※柱の移動は±100mm以内です。（29サイズは柱移動不可です。）

単位mm		
サイズ呼称	d	dA
18ー18	3630	1815
21ー21	4230	2115
24ー24	4830	2415
27ー27	5430	2715
30ー30	6030	3015

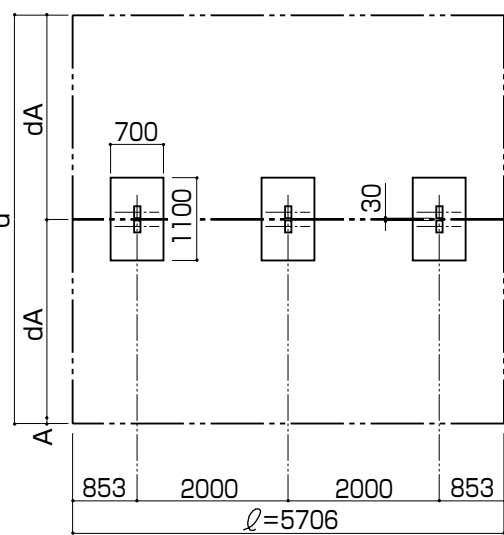
●29サイズ



●50サイズ

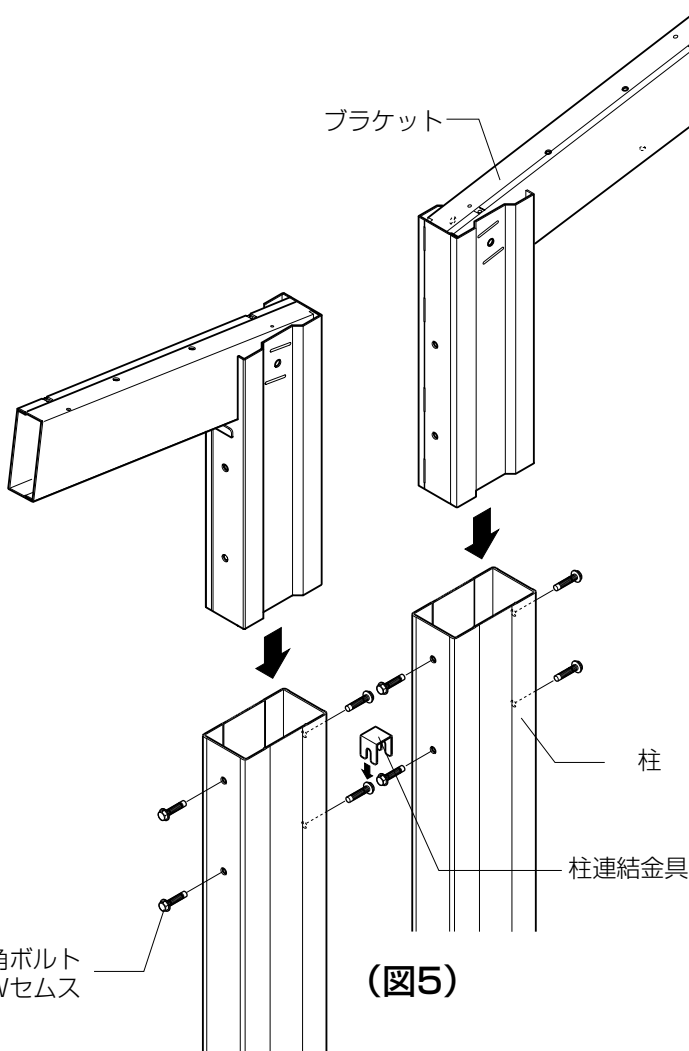


●57サイズ

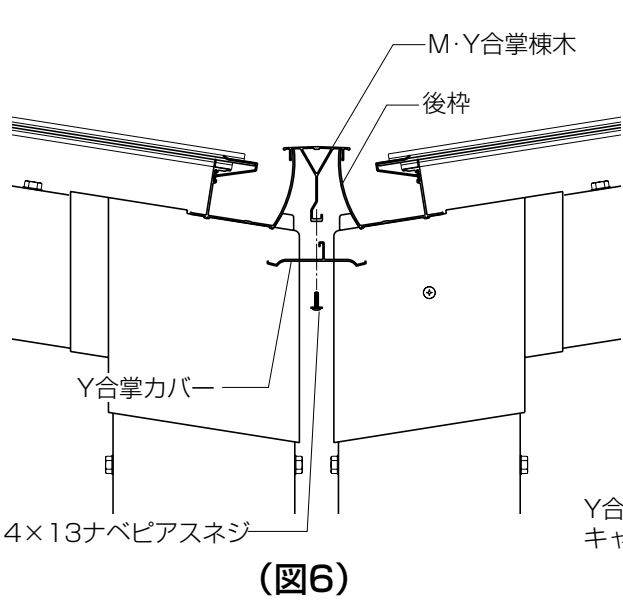


2 本体の組立て

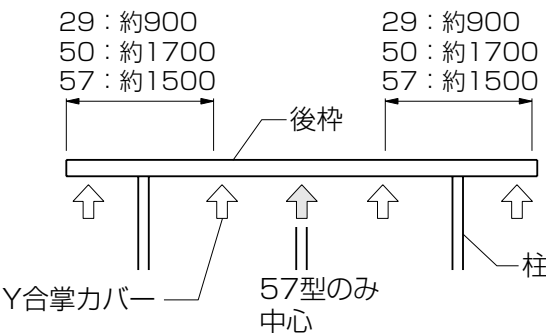
- ①柱にブラケットを差し込み、柱前面のみ固定してください。
- ②合掌面側のボルトを軽くしめ、透き間に柱連結金具を差し込み固定してください。（柱と柱の透き間は30mmです。）（図5）
- ※柱の上面は同一高さにしてください。
- ※柱連結金具は、下側のボルトに止めてください。
- ③M・Y合掌棟木を後枠の間にのせ、Y合掌力バーで固定します。（図6）
- ④Y合掌キャップを取付けます。（図7）
- ※Y合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。



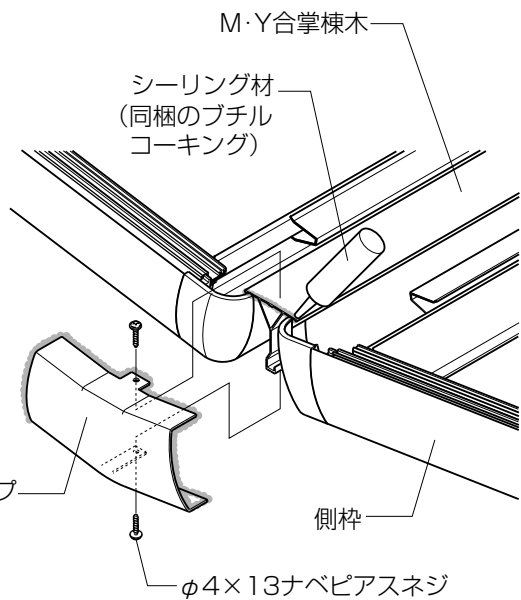
(図5)



(図6)



●Y合掌力バー取付位置図



(図7)

※キャップ固定後、回りにシーリングしてください。

▲ 注 意

●指定の箇所に必ずシーリングしてください。

■縦連棟の取付け

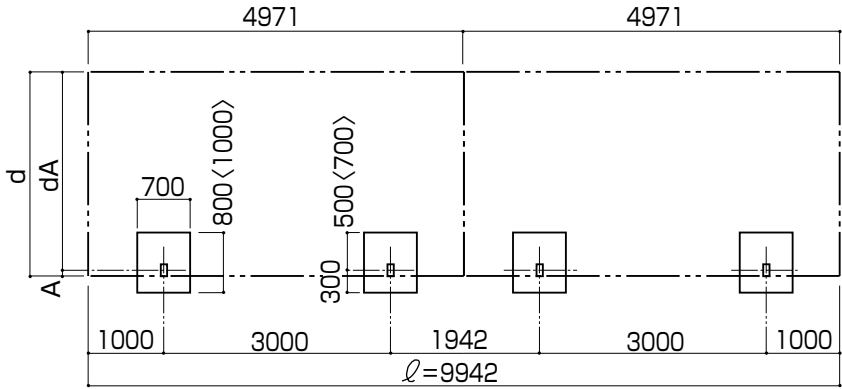
1基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
- ※基礎構造については基本タイプを参照してください。
- 墨出し位置
- ※柱の移動は±100mm以内です。
- ※〈 〉 内寸法は30サイズの場合を示す。

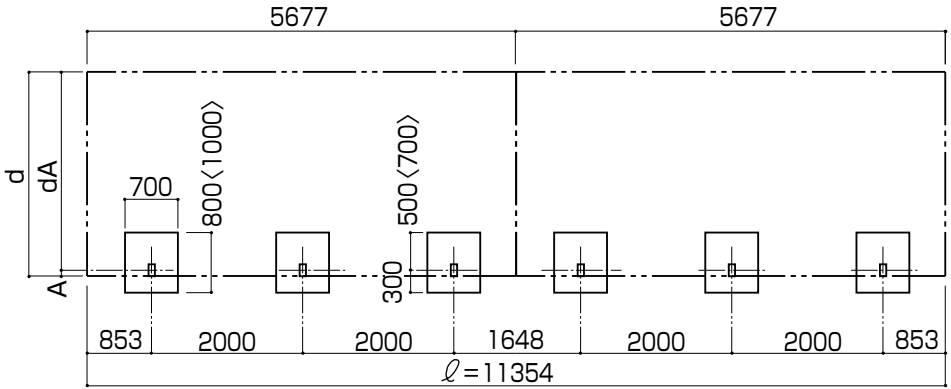
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
18	1800	1734	66
21	2100	2034	66
24	2400	2321	79
27	2700	2621	79
30	3000	2920	80

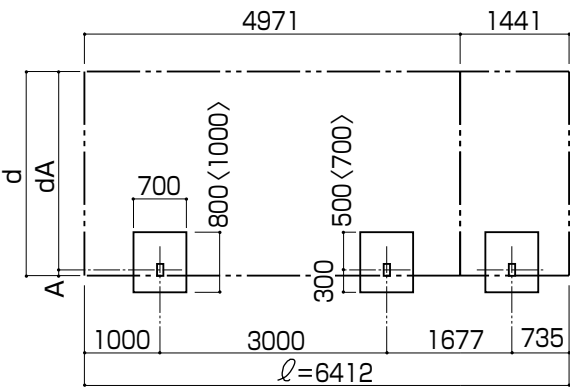
●50サイズ+50サイズ



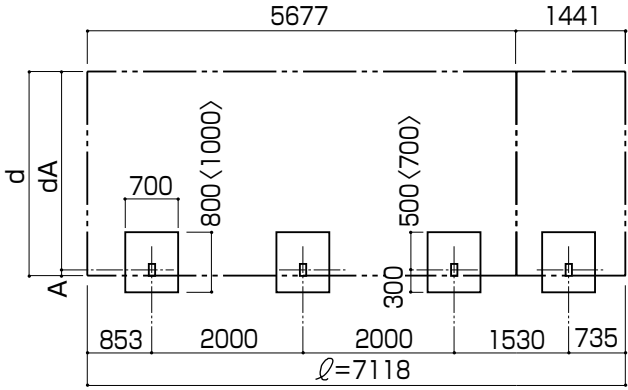
●57サイズ+57サイズ



●50サイズ+14サイズ



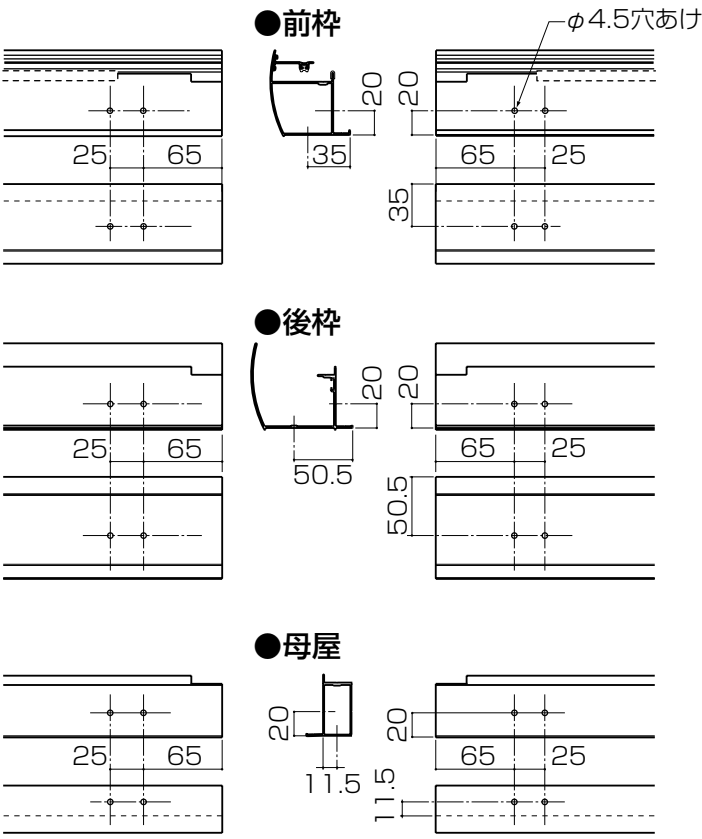
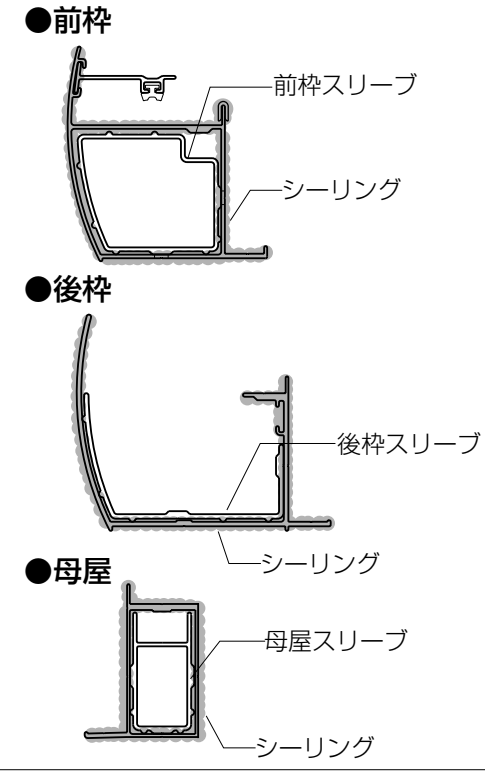
●57サイズ+14サイズ



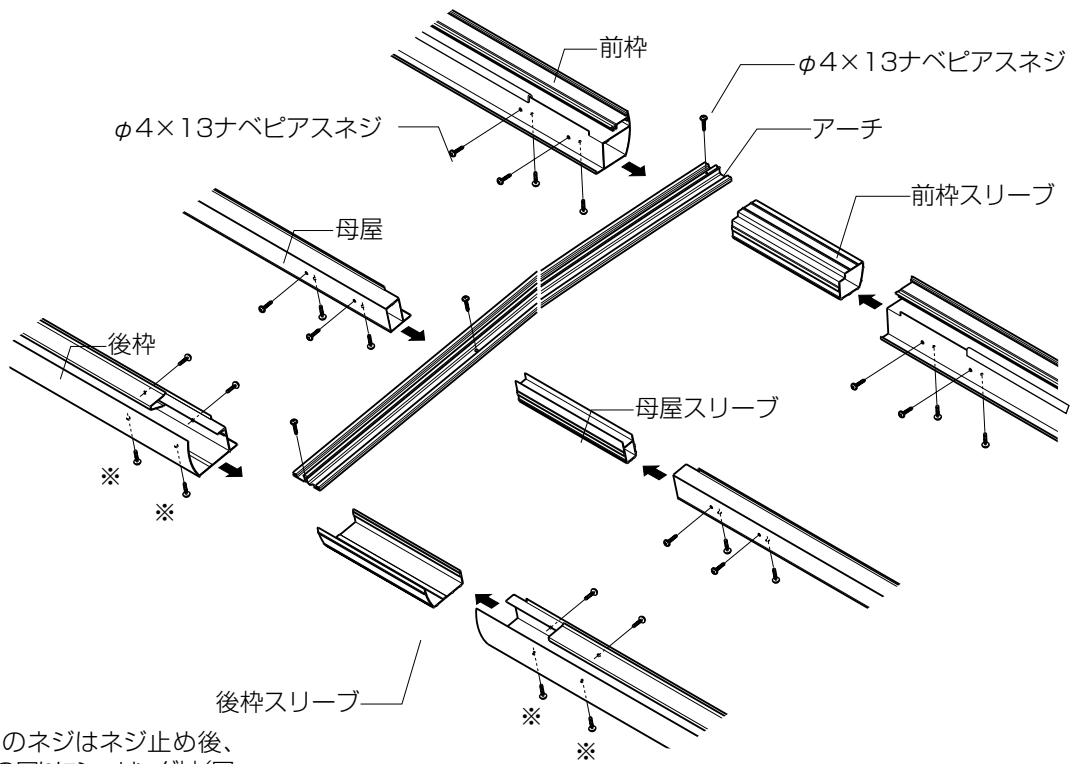
2本体の組立て

- ①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図8)
- ②連棟部分を組み立てます。(図9)
- ※連棟部分にシーリング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
- ※後枠スリーブ取付ネジにもシーリングを施してください。
- ※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

■シーリング箇所



(図8)



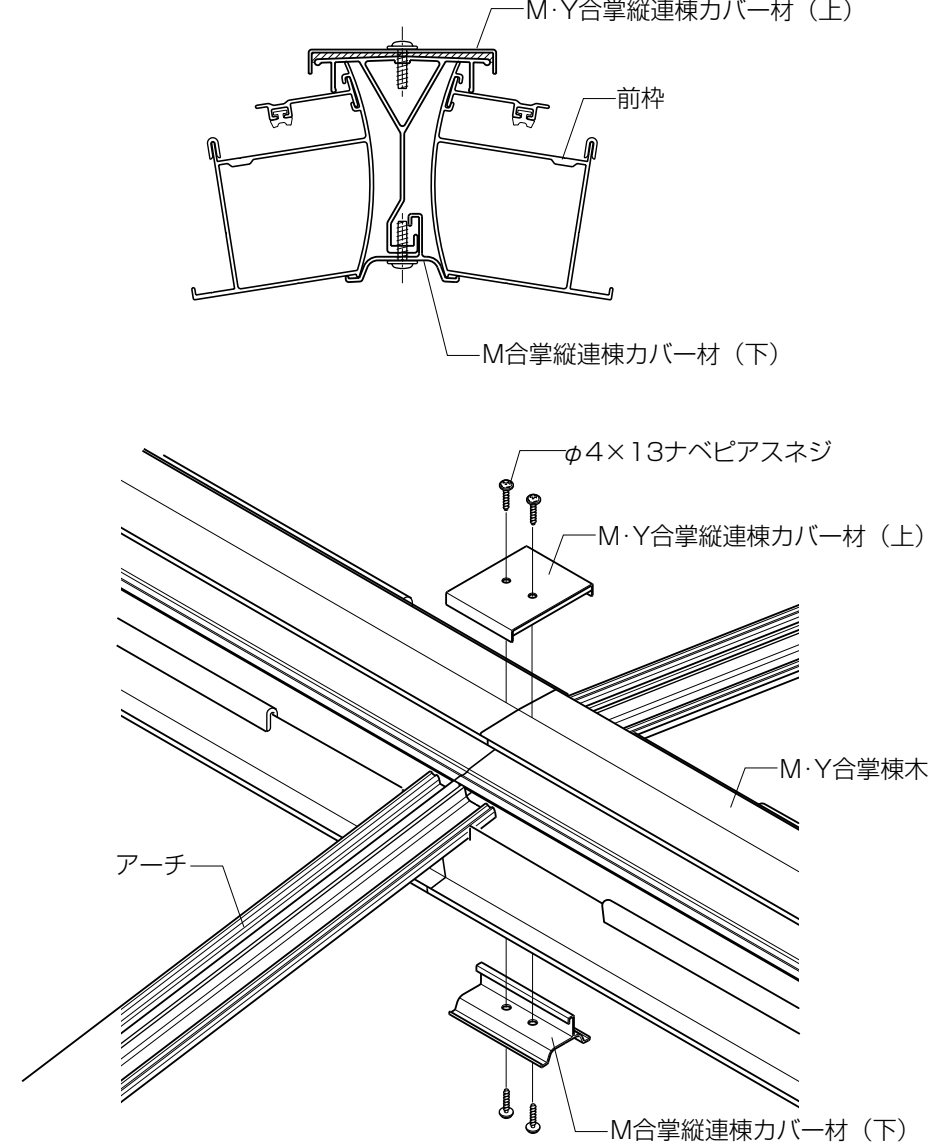
(図9)

⚠ 注 意
●指定の箇所に必ずシーリングしてください。

3M合掌・Y合掌の縦連棟

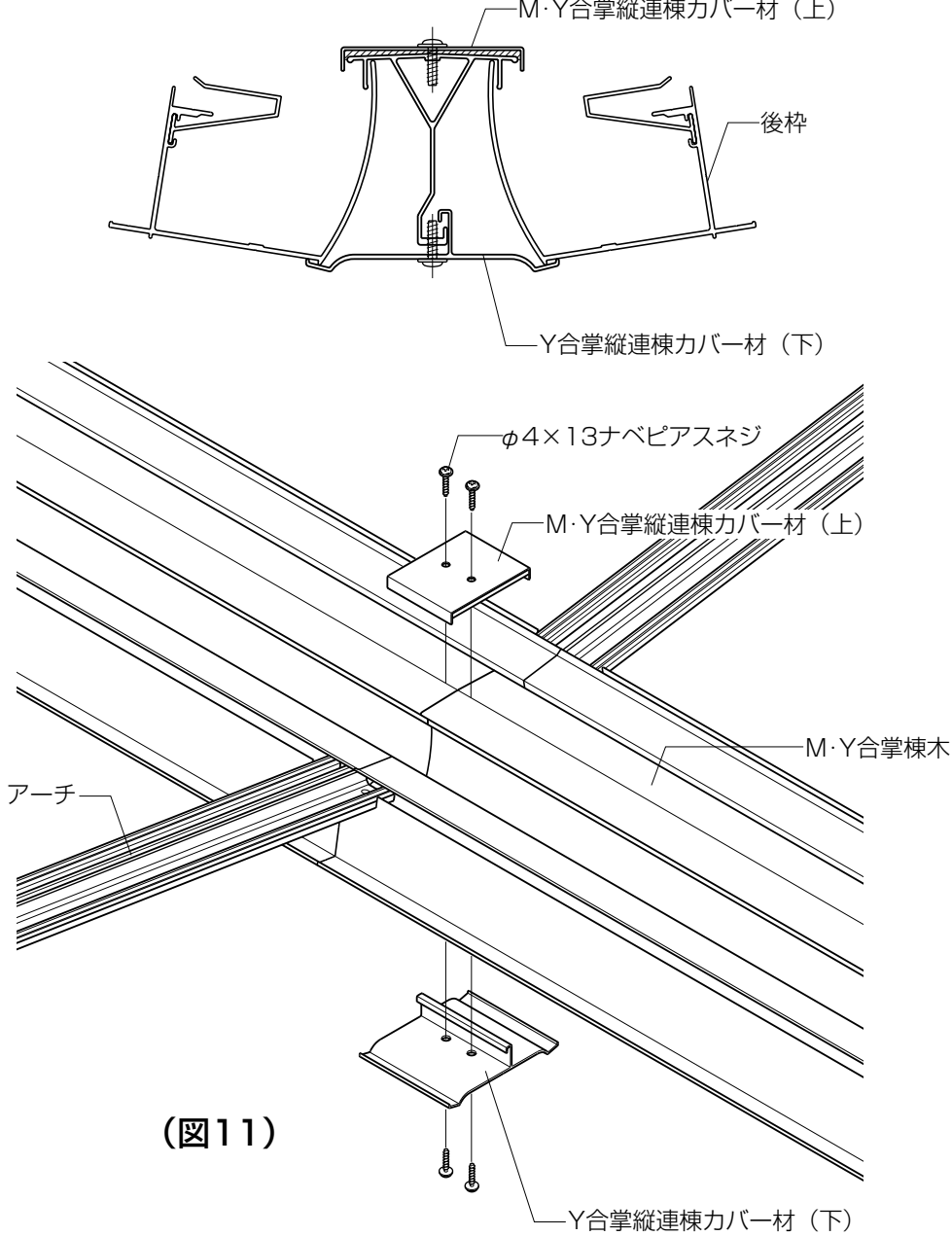
- ①M・Y合掌の棟木の接続部に、M・Y合掌縦連棟カバー材（上）、（下）を取付けます。(図10・11)
- ※連棟部以外の取付けは、M合掌・Y合掌の取付けを参照してください。

■M合掌縦連棟



(図10)

■Y合掌縦連棟

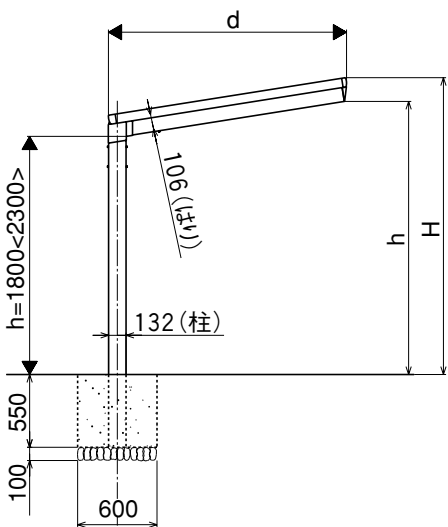


(図11)

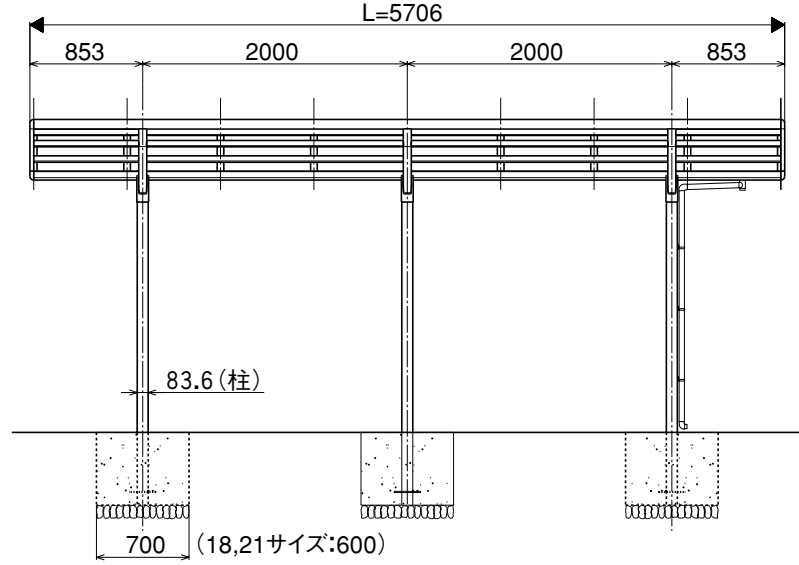
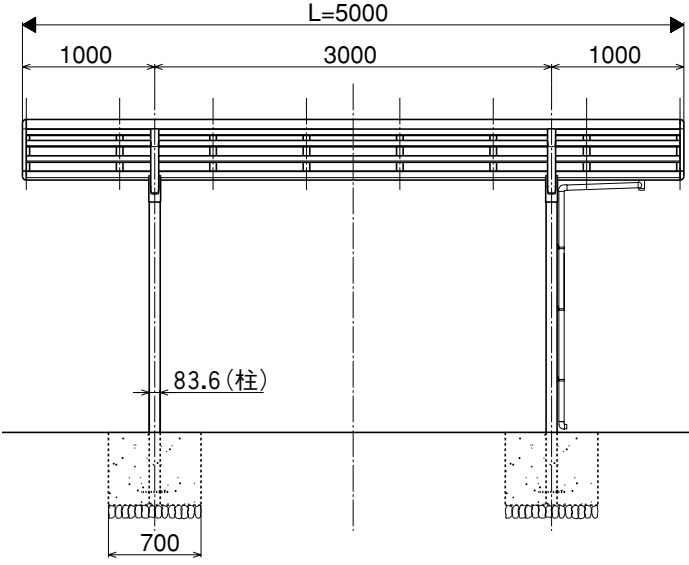
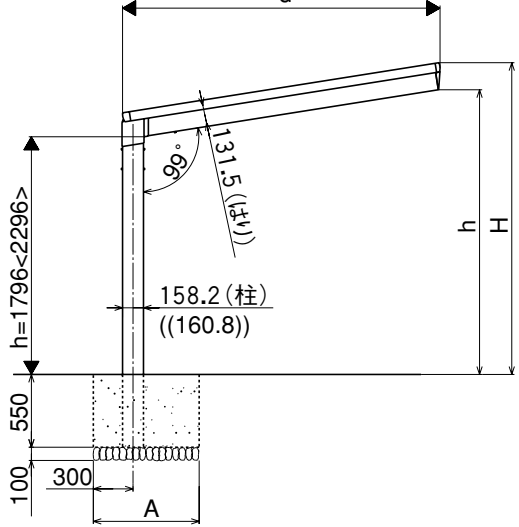
■参考納まり図

●基本タイプ

18・21サイズ

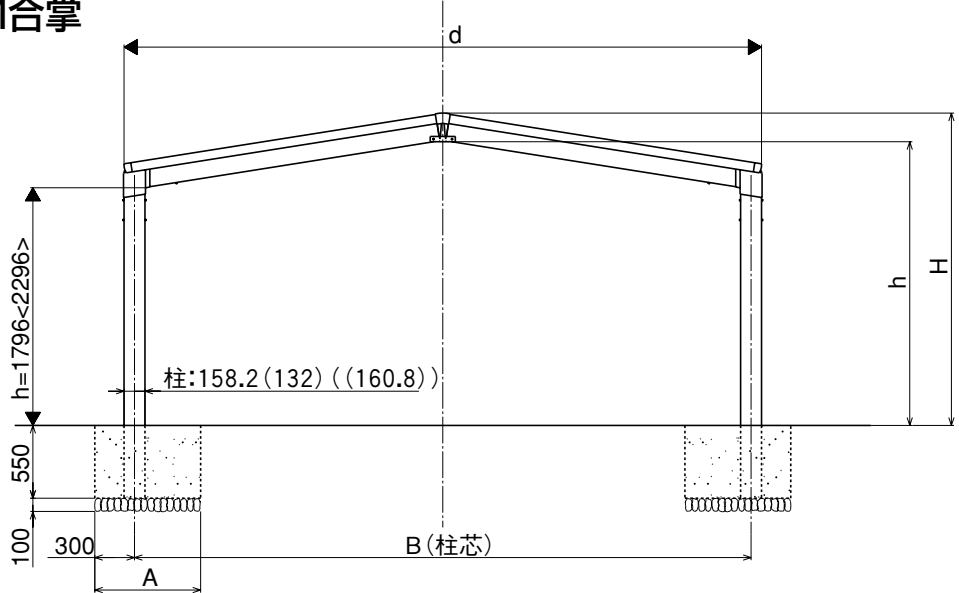


24～30サイズ



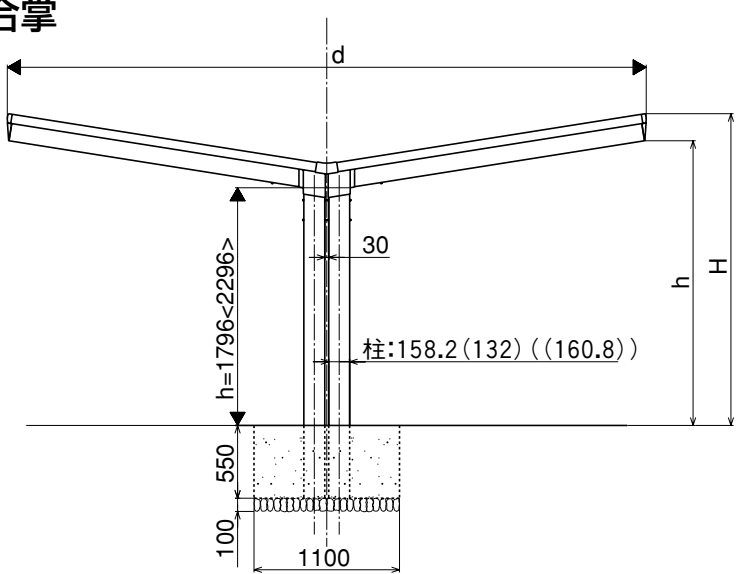
サイズ	d	h	H	A
18	1800	2064 (2564)	2244 (2744)	600
21	2100	2112 (2612)	2291 (2791)	600
24	2400	2152 (2652)	2356 (2856)	800
27	2700	2199 (2699)	2404 (2904)	800
30	3000	2246 (2746)	2451 (2951)	1000

●M合掌



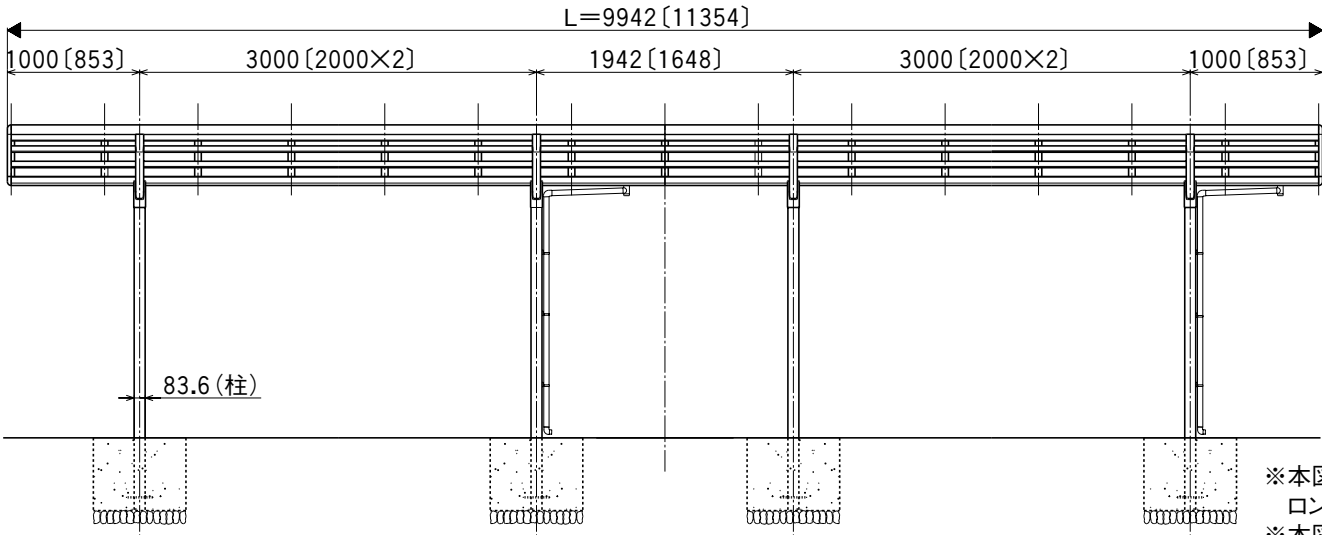
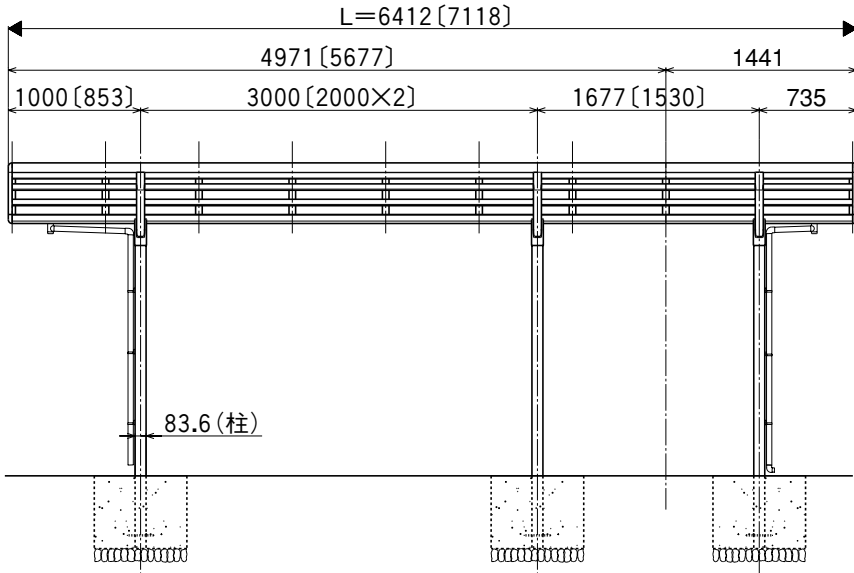
サイズ	d	h	H	A	B
18-18	3619	2052.8 (2552.8)	2244.1 (2744.1)	600	3487
21-21	4219	2104.4 (2604.4)	2295.7 (2795.7)	600	4087
24-24	4819	2144.4 (2644.4)	2360.9 (2860.9)	800	4661
27-27	5419	2192.0 (2692.0)	2408.5 (2908.5)	800	5261
30-30	6019	2239.0 (2739.0)	2455.5 (2955.5)	1000	5858

●Y合掌



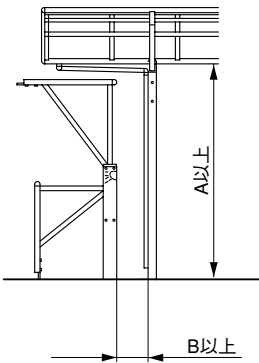
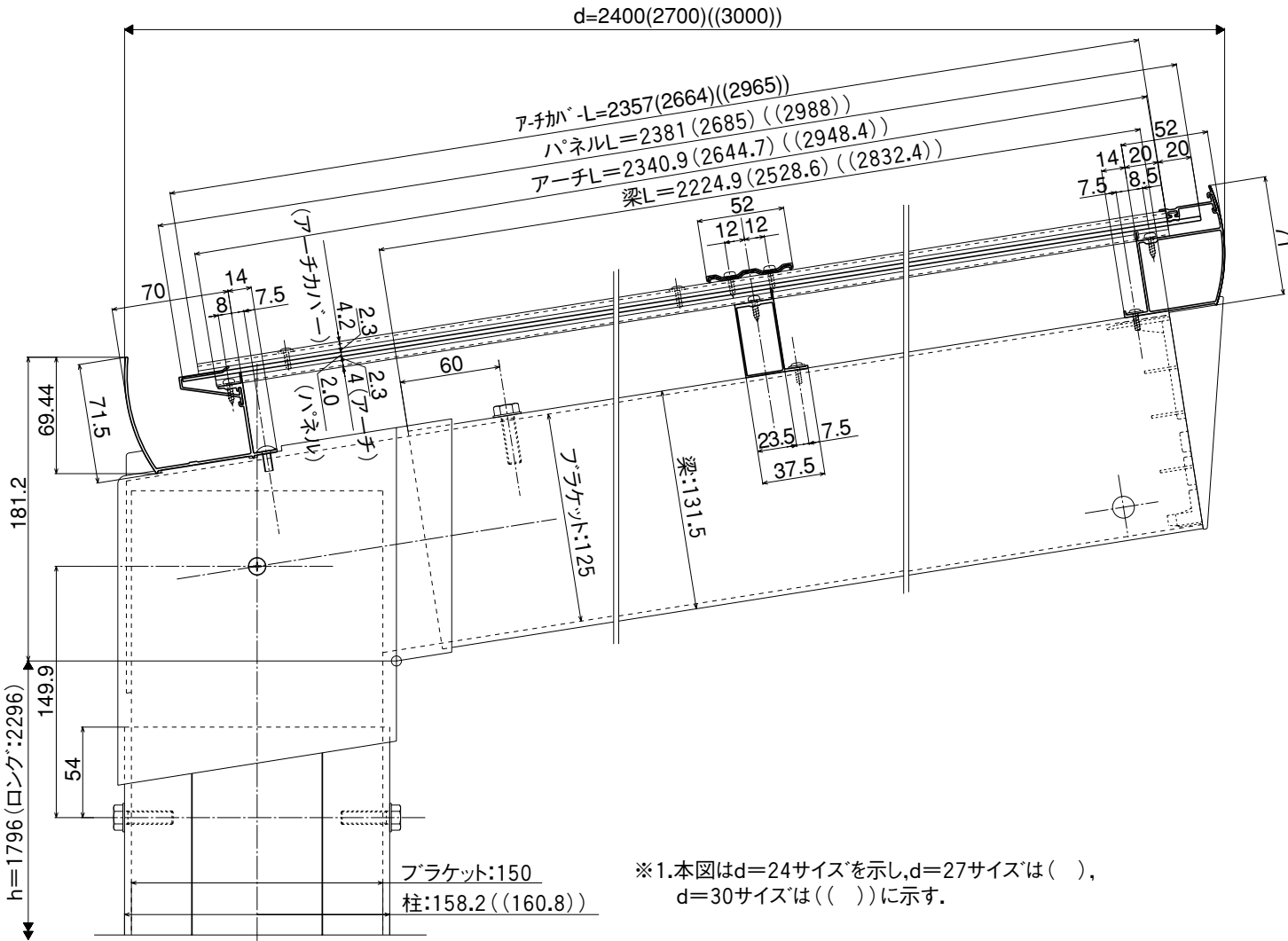
サイズ	d	h	H
18-18	3630	2064.0<2564.0>	2243.5<2743.5>
21-21	4230	2111.6<2611.6>	2291.0<2791.0>
24-24	4830	2151.6<2651.6>	2356.3<2856.3>
27-27	5430	2199.2<2699.2>	2403.8<2903.8>
30-30	6030	2246.2<2746.2>	2450.8<2950.8>

●縦連棟



※本図はh＝18サイズを示す。
ロング柱仕様は、〈 〉に示す。
※本図はL＝50サイズを示す。
L＝57サイズは〔 〕に示す。

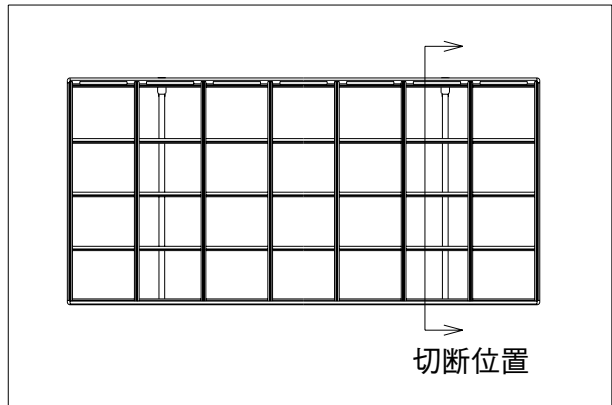
●断面図



<注 意>

- オーバードアを桁下に施行される場合は、ロング柱を使用してください。
- 下表中、斜線部はオーバードアが桁下に納まりません。桁下からずらして施工してください。

円昇・標準タイプ				円昇・ハイルーフタイプ				直昇・標準タイプ				直昇・ ハイルーフタイプ
H:10		H:12		H:10		H:12		H:10		H:12		
A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
2090	150	2090	350	2390	100	2390	200	2230	250	2280	450	



※1.本図はd＝24サイズを示し、d＝27サイズは()、
d＝30サイズは(())に示す。

■梱包明細書

① 柱セット

名 称	員 数			
	2本入	3本入	ロング2本入	ロング3本入
柱	2	3	－	－
ロング柱	－	－	2	3
取扱説明書	1	1	1	1

② 梁セット

名 称	員 数	
	2本入	3本入
梁	2	3

③ 縦樋セット

名 称	員 数
縦樋（L＝3100 φ40）	1

④ ブラケットセット

名 称	員 数			
	ミニ		レギュラー	
	2本入	3本入	2本入	3本入
ブラケット	2	3	2	3
ブラケットカバー R・L	－	－	各2	各3
φ5×55サラタッピンネジ（2種）	－	－	2	3

⑤ 幅セット

名 称	員 数		
	50型	57型	29型
側枠R・L	各1	各1	各1
側枠カバー	2	2	2
アーチ	6	7	3
アーチカバー	6	7	3
屋根材ホルダー	7	8	4

注）50・57・29型とも、間口18サイズには屋根材ホルダーはありません。

⑥ 連棟用幅セット

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
アーチ	7	8	2
アーチカバー	7	8	2
屋根材ホルダー	7	8	2

注）50・57・14型とも、間口18サイズには屋根材ホルダーはありません。

⑦ 長さセット

名 称	員 数										
	50型			57型			14型			29型	
	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入
前枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3
豎樋（L=3100 φ40）	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—

⑧ 部品セット

名 称		員 数					
		ミニ			レギュラー		
		29/50型	57型	14型	50型	57型	14型
前枠コーナーキャップR・L		各1	各1	各1	各1	各1	－
後枠コーナーキャップR・L		各1	各1	各1	各1	各1	－
梁キャップ		2	3	1	2	3	1
梁用止水パッキン		2	3	1	2	3	1
ブラケットカバーR・L		各2	各3	各1	－	－	－
M8×25 座金組込六角ボルト Wセムス（平座金＋ネジ座金）		14	21	7	14	21	7
φ5×55 サラタッピンネジ（2種）		2	3	1	－	－	－
φ5×14 トラストッピンネジ（3種）		4	6	2	4	6	2
φ4×10 ワッシャーヘッドネジ		98	114	32	118(138)	138(162)	38(44)
φ4×13 ナベピアスネジ		34	38	14	42(50)	47(56)	17(20)
φ5×13 ナベピアスネジ		16	18	4	16	18	4
アンカー棒		2	3	1	2	3	1
シーリング材（ブチルコーキング）		1	1	1	1	1	1
孔隠しシール		20	30	10	20(24)	30(36)	10(12)
雨樋 セ ット	雨樋アタッチメント	1	1	1	1	1	1
	孔ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1
	アタッチメントパッキン	2	2	2	2	2	2
	ドレンエルボ φ40用	1	1	1	1	1	1
	ドレンエルボキャップ	1	1	1	1	1	1
	ドレンエルボパッキン	1	1	1	1	1	1
	92度エルボ φ40用	2	2	2	2	2	2
	でんでん	3	3	3	3	3	3
	φ4×12 トラストッピンネジ（3種）	4	4	4	4	4	4
	φ4×19 ナベピアスネジ	3	3	3	3	3	3
	接着剤	1	1	1	1	1	1
取付説明書		1	1	－	1	1	－

※（ ）内は間口30型

■梱包明細書 つづき

9) M・Y合掌棟木セット

名 称	員 数
M・Y合掌棟木	1

10) M合掌部品セット

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
M合掌カバー材（下）	4	5	2
M合掌キャップ	2	2	—
梁連結材	4	6	2
M8×75 六角ボルト	4	6	2
M8用 平座金	8	12	4
M8用 バネ座金	4	6	2
M8用 袋ナット	4	6	2
φ4×13 ナベピアスネジ	8	9	2

11) Y合掌部品セット

名 称	員 数	
	50型	57型
Y合掌カバー材（下）	4	5
Y合掌キャップ	2	2
Y合掌柱連結金具	2	3
φ4×13 ナベピアスネジ	8	9

12) M合掌連棟部品セット

名 称	員 数
MY合掌縦連棟カバー材（上）	1
M合掌縦連棟カバー材（下）	1
φ4×13 ナベピアスネジ	4

13) Y合掌連棟部品セット

名 称	員 数
MY合掌縦連棟カバー材（上）	1
Y合掌縦連棟カバー材（下）	1
φ4×13 ナベピアスネジ	4

14) 屋根材セット

名 称	員 数	
	3枚入り	4枚入
屋根パネル	3	4

15) 連棟部材セット

名 称	員 数	
	18～27用	30用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	3	4
φ4×13 ナベピアスネジ	42	50